

ロータリーキルン内部の温度監視

- 最小限の開口部 ($\phi 80\text{mm}$) で広角視野による監視が可能
- 1500°C を超える高温炉内の温度監視が可能

炉内温度監視装置CAP-Rは、短波長領域 ($0.8\sim 1.0\mu\text{m}$) に感度を持つSi-CCDカメラで、光学系は細い筒状のリレーレンズを採用しており、ロータリーキルンなど高温の炉内に挿入して広角視野での温度監視が可能です。

■ 導入効果

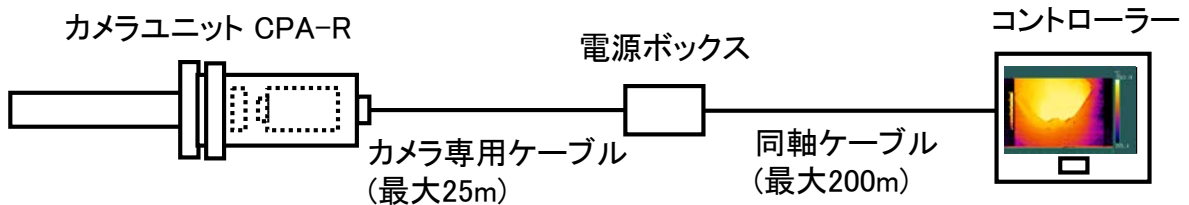
- キルン内部の焼成物の直接温度監視による品質向上
- 焼成温度の最適化によるバーナーの燃焼効率の改善と省エネを実現
- キルンの維持管理や保守において内部の状態を視覚的に監視することで作業効率が向上

■ 商品の特長

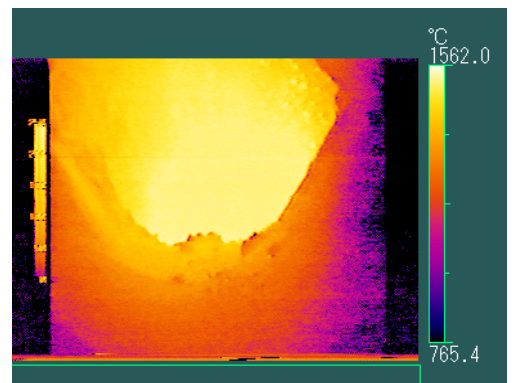
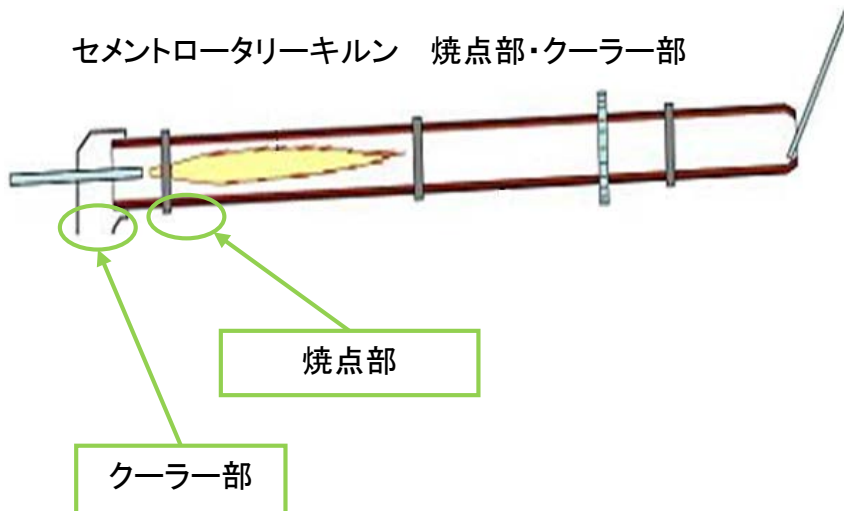
- 中高温域の温度監視に適した短波長 ($0.8\sim 1.0\mu\text{m}$) のSi-CCDを搭載し、熱画像処理専用のコントローラーにより $700\sim 2500^{\circ}\text{C}$ の炉内温度監視が可能。(レンジは $200\sim 500^{\circ}\text{C}$)
- 光学系に筒状のリレーレンズの採用により、炉壁の負担を最小限にしたわずかな開口部 ($\phi 80\text{mm}$) を設けることで炉内を広角視野 (最大 94°) で監視可能。

■ アプリケーション例

機器構成



セメントロータリーキルン 焼点部・クーラー部



CHINO